

2027/3期 1Q 決算補足説明資料

2026年7月22日
株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

国内経済及び業界動向

- 中東情勢の緊迫化に伴う物価上昇など国内経済の下押しリスクはあったものの、雇用環境の改善やデジタル関連投資が下支え、景気は緩やかな回復基調
- 情報サービス業界はDX投資が継続、特に生成AIを活用した開発が進展し、需要は底堅い反面、IT関連人材の確保・育成の課題・コスト増加もあり先行きを注視

当社の特徴と1Q実績

- クライアントや取引先SIerの予算執行のタイミングや開発システム工期との兼ね合いから、例年第1四半期は業績が低く始まり、第2四半期以降に業績が集中する傾向
- 当第1四半期は一部車載系案件の開発中止など事業環境の厳しさがあったものの、各事業分野において受注が堅調に推移し、開発体制の強化も進め、連結範囲の拡大も合わせて前年同期比で大幅に伸長
- 金融事業領域におけるクラウド化を始めとするITインフラ構築案件の増加に対応するため、本年4月から「ITイノベーション事業」を「金融事業」に統合し、取引先からの案件ニーズにスムーズに対応できる体制を整備

中期経営計画最終年度へ向け施策を積極的に推進

- システム開発力の強化・人員増強(新卒採用を拡大継続、生成AIを始めとしたDX人材の教育・育成)
- R&D・業務提携(AX推進室を軸とした取引先とのAI共創・社内AIリテラシー向上の加速、大阪大学との協創)
- M&A(2024年4月:ヒューマン&テクノロジー社、2025年5月:グリーンキャット社 を連結子会社化)

- 連結拡大に加え各事業部門において順調に受注を拡大し、前年同期に比べて業績は大幅に伸長
- 人件費、研究開発投資の増加やのれん償却などで販管費は引続き増加傾向
- 教育研修費が集中する1Qは例年低めのスタートとなるが、新卒採用者も下期から徐々に売り上げに貢献する計画

(百万円)	2026/3期		2027/3期				
	1Q	通期	1Q実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	1,753	8,655	2,258	+504	+28.8%	10,000	22.6%
売上総利益	318	1,675	445	+126	+39.8%	1,950	22.8%
粗利益率	18.2%	19.4%	19.7%	+1.6pp	－	19.5%	－
販管費	279	1,003	345	+66	+23.7%	1,115	31.0%
営業利益	39	672	99	+60	+154.4%	835	11.9%
営業利益率	2.2%	7.8%	4.4%	+2.2Pp	－	8.4%	－
経常利益	51	727	113	+61	+120.8%	900	12.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	66	599	109	+42	+64.9%	720	15.1%
EPS	28.7円	258.8円	46.9円	+18.2円	+63.5%	309.2円	15.2%

※今期は期初からグリーンキャット社業績が反映される(26/3期は2Qより8か月分を反映)

- 中期経営計画の最終年度であり、連結売上高100億円達成を目指す
- 堅調なシステム開発需要への対応、中期経営計画施策の着実な実行により、売上高前期比15%増収計画
- 先行投資としての新卒採用人員を一昨年から継続して大幅増員、教育・研修も充実させ体制を拡大し開発力を強化
- 大幅な増収効果により、営業利益・経常利益は前期比24%増益の見通し

(百万円)	2026/3期 (実績)		2027/3期 (業績見通し)	増加額	増加率
売上高	8,655		10,000	+1,344	+15.5%
営業利益	672		835	+162	+24.2%
経常利益	727		900	+172	+23.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	599		720	+120	+20.1%
EPS(円)	258.8		309.2	+50.4	+19.5%

- 現状においては配当金での株主還元を柱とし、40%以上の配当性向と継続的な増配を計画
- 2026年3月期は年間100円の当初計画を105円に増額。上場以降3期連続増配し、配当性向40%を実現
 - 2027年3月期は当期利益20%増益の計画を踏まえ、20円増配を予定

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期(予想)		
				年間	中間	期末
一株当たり配当額	70円 (30円)	80円 (40円)	105円 (50円)	125円	60円	65円
うち、記念配	10円 (5円)	—	—	—	—	—
EPS	193.0円	210.6円	258.8円	309.2円	—	—
配当性向	36.3%	38.0%	40.6%	40.4%	—	—

※2024/3期～2026/3期の配当金額下段括弧は中間配当金額を内書き

2027/3期 連結売上100億円を目指し中期経営計画を推進中 急速なAIシフトに対応するための組織体制整備・追加アクションを推進中



- 第1四半期は例年低めのスタート。各事業部門において受注も堅調で、前年同期に比べて順調な滑り出し
- 人件費の増加、研究開発投資拡大の影響から、販管費は引続き増加傾向
- 政策投資株式の縮減方針に沿った投資有価証券売却による特別利益を計上、計画的に当期利益を底上げ

(百万円)	2026/3期		2027/3期				
	1Q	通期	1Q実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	1,691	7,468	1,838	+147	+8.7%	8,200	22.4%
金融	650	2,784	895	+95	+11.9%	3,795	23.6%
産業流通	476	2,164	501	+24	+5.2%	2,415	20.8%
社会公共	415	1,848	442	+27	+6.6%	1,990	22.2%
ITイノベーション※	149	671					
売上総利益	298	1,427	349	+51	+17.2%	1,596	21.9%
粗利益率	17.6%	19.1%	19.0%	+1.4pp	—	19.5%	—
販管費	263	819	287	+24	+9.2%	860	33.4%
営業利益	34	608	61	+27	+77.9%	736	8.4%
営業利益率	2.1%	8.1%	3.4%	+1.3Pp	—	9.0%	—
経常利益	47	663	79	+32	+68.8%	806	9.9%
当期純利益	66	578	92	+26	+39.7%	677	13.7%

※2026年4月にITイノベーション事業を金融事業に統合したため、金融事業の前年同期差・比は前期の「金融+ITイノベーション」に対して算出

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先	株式会社オービーシステム 東京本社IR担当 TEL:03-3471-9877(代表) E-mail:ir@obs.co.jp
---------	--